

大館桂桜高の川口小卒業生ら

母校の給食テーブル補修

ボランティア 破損部分を溶接



大館桂桜高校機械科の2年生3人が26日、大館市の同校で、同市の川口小学校が給食で使っているテーブルの破損部分を溶接して補修するボラ



生徒が溶接に取り組み、テーブルの補修作業のため

ンティアを行った。参加者は川口小の卒業生もあり、母
校の力になろうと、懸命に作
業に取り組んだ。
川口小のテーブルは、裏面
に椅子を引っかけられるためのU
字の金具が複数取り付けられて
いるが、経年劣化などで外
れてきていた。
川口小は、児童に物を大切に
する心を養ってもらうとど
もに、先輩が地域貢献に取り
ボランティアに励んだ(右
から)高橋さん、石戸谷さ
ん、藤原さん

組む姿を見てもらおうと、大
館桂桜高に修理を依頼。授業
で溶接を学ぶ川口小卒業生の
石戸谷悠さん、高橋誠河さん
と、2人と同じ野球部員の藤
原侑樹さんが参加した。
生徒たちは、U字の金具の
接合面を平らに削った後、そ
の場で溶接。最終的には外れ
ていた69個の金具のうち、変
形が激しいものを除いて
44個をくっつけた。
石戸谷さんは「作業をしな
がら、友達と給食を食べてい
た時を思い出した。後輩た
ちが使う物を直すことで、母
校に貢献できたのはうれし
い」。高橋さんは「自分も小
学生の頃、金具を外してしま
ったことがあったので、補修
できて良かった」と笑顔で話
した。
補修されたテーブルは引き
続き川口小で使われる。春休
み中のため、今回の補修作業
の様子は今後、動画で児童た
ちに見せる予定。
(盛福央)